２０２０年度事業報告書

法人の名称　特定非営利活動法人　ないろ

１、事業内容

（１）特定非営利活動に係る事業

①親子のための育児支援施設の運営に関する事業

ア　保育施設の運営事業

・内容　　保育施設の運営
・日時　　通年
・場所　　神奈川県相模原市南区当麻 862 番地 13
・従業員数　常勤　3 人（児童クラブ事業と兼務）
　　非常勤 7 人（内 4 人は児童クラブ事業と兼務）
　　補助スタッフ 4 人（児童クラブ事業と兼務）
・対象者　　保育を必要とする乳幼児 23 人
・支出額　　12,923,462 円（前年度 12,529,961 円）

イ　児童クラブ施設の運営事業

・内容　　児童クラブの運営
・日時　　通年
・場所　　神奈川県相模原市南区当麻 862 番地 13
・従業員数　常勤 3 人（保育施設事業と兼務）
　　非常勤 7 人（内 4 人は保育施設事業と兼務）
　　補助スタッフ 5 人（内 4 人は保育施設事業と兼務）
・対象者　　児童クラブを必要とする小学生 44 人
・支出額　　13,147,559 円（前年度 13,216,283 円）

２、総括

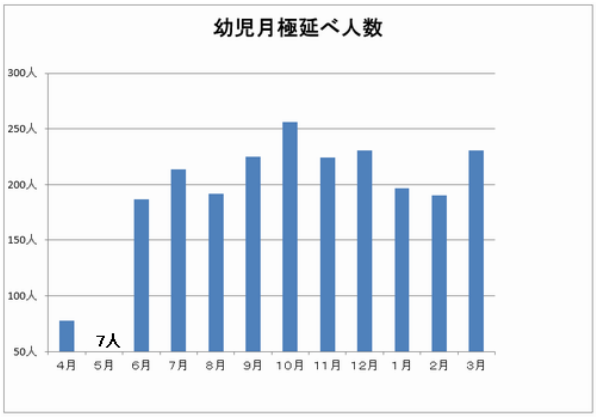
コロナに始まりコロナで終わった 2020 年度。初めての事で情報も交錯し、どのような対策が一番良いのかずっと悩み続ける 1 年だった。思うように保育も行事もできない、登園すら自粛をすべきかどうかという中、子どもたちが明るく元気でいてくれたことが救いだった。

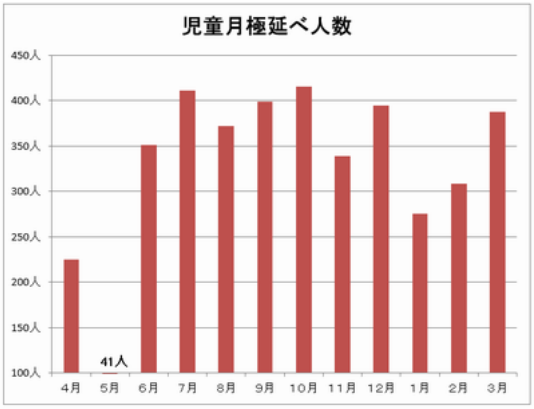
利用の自粛要請にて、年度初めは収入も 8 割減となり、経営も厳しい状態となったが、行政からの補助金をはじめ、現利用者や元利用者からの様々な物資の支援や温かい言葉に助けられ、感謝の 1 年でもあった。

しかし、新年度早々の自粛要請にて、新利用者との信頼関係の構築には苦労した。コロナ禍での様々なイレギュラーな出来事があった今年度ほど、この仕事は繋がりや信頼関係がとても大切なのだと改めて思い知らされた。

３、利用者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼児月極人数	12	10	12	13	14	14	14	14	14	13	13	13	
幼児月極延べ人数	78	7	187	214	192	225	256	224	231	197	190	231	2232
幼児一時延べ人数	12	0	18	24	21	25	27	25	26	20	23	42	263
幼児18時以降の延長利用延べ人数	0	0	2	0	1	0	0	0	0	4	1	1	9
幼児19時以降の延長利用延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
児童月極人数	36	4	31	35	37	36	35	32	33	32	33	33	
児童月極延べ人数	225	41	351	411	372	399	416	339	395	276	309	388	3922
児童一時延べ人数	1	0	6	1	9	0	0	0	2	2	0	3	24
児童18時以降の延長利用延べ人数	18	1	44	56	55	61	61	61	61	40	51	56	565
児童19時以降の延長利用延べ人数	8	0	21	29	5	12	18	25	16	12	9	17	172



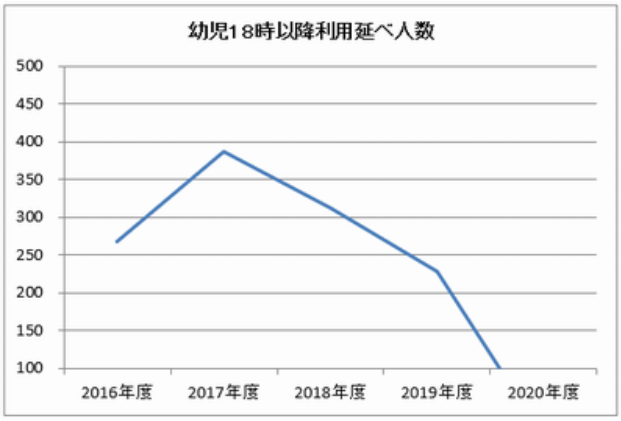


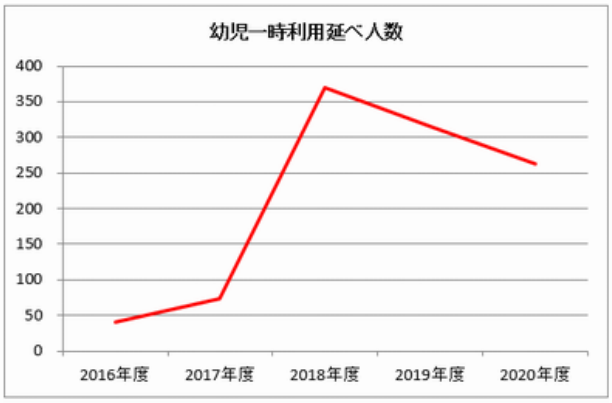
＊コロナの影響で、4，5 月の利用者数は極端に減った。特に 5 月は 1 割にも満たない利用人数だった。それに伴い保育料の収入は減り、5 月は前年の 8 割減となってしまった。利用人数の定員が決まっているため、収入の上限がほぼ決まってしまい、他の月で穴埋めをすることができないなか、持続化給付金等に助けられ例年通りの運営ができた。

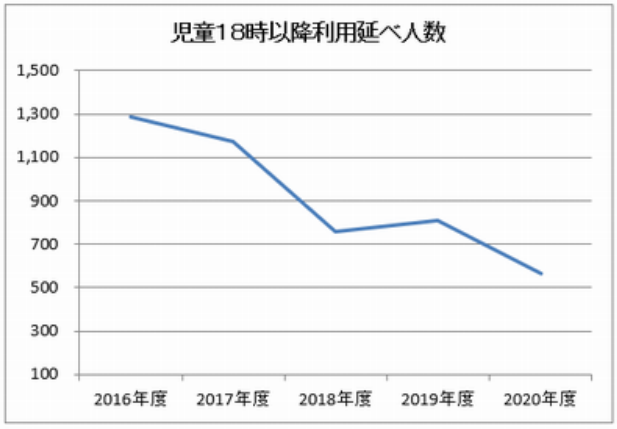
＊保育部門の一時預かりはコンスタントに利用してくださる方が付いたが、児童クラブ部門の一時利用者は、相変わらずスタッフの子どもが 9 割を占めている現状。
ここ数年の課題でもあるが、次年度は一時利用の周知方法も再検討し、利用者数を増やしていきたい。

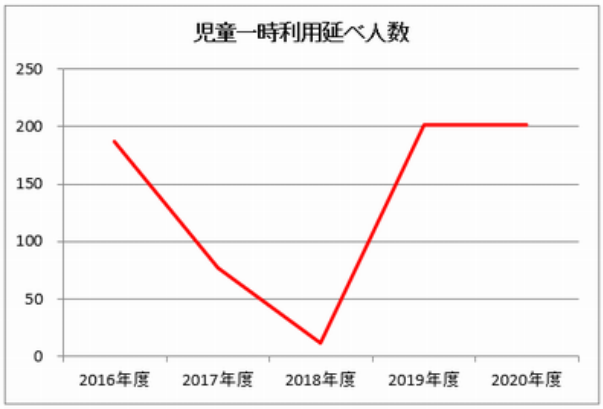
過去 5 年間の利用者推移

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
幼児18時以降利用延べ人数	268	387	313	228	9
幼児一時利用延べ人数	40	74	370	315	263
児童18時以降利用延べ人数	1,284	1,171	756	812	565
児童一時利用延べ人数	187	77	12	202	202









・今年度の幼児は 18 時以降も年間で延べ 9 名。19 時以降の延長は年間通して 0 人。幼児の時間外利用の需要は減ってきたが、家庭の事情等で遅くまで預けなくてはならない時に、預け先がある安心感は大きいとの保護者からの声は多い。実利用のある無しにかかわらず、子育て中の保護者の安心感も支援の一つではないかととれる。

・児童クラブ部門は公立の児童クラブでは対応していない 19 時以降の延長は、これから先も需要はあるのではないか。ただ、時間外のスタッフの確保や、子どもの夕食の時間、就寝時間等の生活リズムをどう整えたらよいかは、保護者とも話し合いながら進めていかなければならない今後の課題となる。

４、事業報告

赤字　保育・児童クラブ合同

<table>
<tr><th>月</th><th>保育部門</th><th>児童クラブ部門</th></tr>
<tr><td>４月</td><td>
今年度の入園･進級プレゼント
毎年七色をモチーフとした
手作りストラップを
全園児にプレゼント

10 日　園外保育　当麻山公園
＜詳細別途記載＞

14 日　避難訓練（火災･防犯）
＜詳細別途記載＞
</td><td>
２日　園外保育
東原公園　当麻山公園
お天気も良く、皆よく駆け回り遊んだ。虫探しや植物などを見つけ、会話も盛り上がった。

10 日　園外保育　当麻山公園
＜詳細別途記載＞
14 日　避難訓練（火災･防犯）
＜詳細別途記載＞
</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">
園外保育　当麻山公園
幼児・学童合同で園外へ。
幼児は新緑の中、広々とした公園で思い思いに遊んでいた。
学童は広場で遊ぶ子は少なく、丸太わたりや迷路で鬼ごっこをし、夢中になって遊んでいた。

</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">
避難訓練（火災･防犯）
登園時が少なく、幼児・学童合同で行う。
新入児が多く、ハンカチの必要性やダンゴ虫のポーズなどを伝えた。
皆スタッフの話を真剣に聞き、学童からは質問も出た。
不審者が出た時の合言葉は「先生」であると伝えた。

学童のみ水消火器を体験した。

</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>5 月</td><td colspan="2">緊急事態宣言中のため、９割の園児が登園自粛
普段なかなかできない倉庫の片付けや棚作り、網戸の張り替え等を行う。
 </td></tr>
<tr><td>6 月</td><td>9 日　健康診断
17 日　避難訓練（地震）
事前に避難訓練をすると伝えていたこともあり、「地震だよ！揺れているよ」の声かけやスタッフの行動に驚く子はいなく、スムーズに机の下にもぐることができた。</td><td></td></tr>
<tr><td>7 月</td><td>14 日　健康診断
16 日　避難訓練（火災）
話をする時点でどの子も真剣に聞くことができていた。避難するときもスムーズに逃げることができた。</td><td>16 日　避難訓練（火災）
今回は抜き打ちで行った。室内・園庭で遊んでいる子それぞれだったが、皆「火事だよ」の声かけに反応し、落ち着いて静かに避難することができた。</td></tr>
<tr><td>8 月</td><td>うちわ製作「にじみ絵」
説明の時からみんなとても集中していて、意欲的に取り組む。

6日　健康診断</td><td>うちわ製作「パステル」
うちわの表面は製作、裏面は子どもの手形を取りその上に名前を入れる。毎年恒例の製作で、保護者にも好評をいただいている。製作はその子の個性が出ていて面白い。
 </td></tr>
</table>

	27日　避難訓練（火災） 火事の避難訓練を行うということを子ども達に伝えると「あつまるんでしょ？」と分かっている子もいた。どの子も真剣に取り組むことができた。	**19日　避難訓練（防犯・火災）** 防犯…抜き打ちで行う。「先生」合言葉に反応できたものの、部屋のどこに避難すればいいか分からない子が多かった。その後「入口から見えにくいところ」や「スタッフがいる場所」など子ども達と話し合いをした。 火災…外気温が高かったので、訓練することは事前に伝え、ベランダに靴を用意してから開始。慌てず話を聞いて避難することはできたが、後半は集中力が切れ話をしてしまう子もいた。静かにし、スタッフの話を聞くことの重要性を再度伝えた。
	夏のお楽しみ 今年度はコロナの影響で夕涼み会やお泊り会等の行事が行えなかったため、通常の保育の中で楽しめる企画を立てた。 **＜メントスコーラ＞** 夏休み恒例のお楽しみ実験タイム。子ども達は興味津々でよく見ていた。夏休み企画として大人気で、この先もこのような企画を立ててあげたい。 **＜水風船で遊ぼう！＞** 	

魚つり大会

学童はテーブルを池に見立てて、魚つり大会。皆とても真剣に釣っていた。だんだん釣れる匹数が増え、上達していく子もいた。

水遊び

コロナで密を避けるため、今年度はプールを出さずに水遊びを楽しむ。

21日　お楽しみ会

今年度はお泊り会ができないので、代わりにお楽しみ会を行う。５チームに分かれて対戦でゲーム。ロトキャッチャーで景品当てなど盛りだくさんで夏休みの最終日を楽しんだ。幼児も降園時に親とヨーヨー釣りを楽しむ。

腕相撲大会

ひっくり返しゲーム

文字並べ

風船割り

ロトキャッチャー

ヨーヨー釣り

9 月	**8日　健康診断** **14日　避難訓練（地震）** 頭を守る「ダンゴムシのポーズ」で机の下にもぐる練習をする。１歳児は泣いてしまう子がいたので、泣いてパニックにならない対応を考えていきたい。	**8 日～　敬老の日製作** 今年度はスタッフが用意した青竹ふみに祖父母へのメッセージを書いた。子ども達は「なんて書く？」と相談しながらメッセージを書いていた。
10 月	**13日　健康診断** **20日　避難訓練（火災）** 「火事だ！」のかけ声で開始。かけ声をかけると月齢の大きい子はすぐ反応し、スタッフのそばに来ることができた。 **30日　ハロウィン<詳細別途記載>**	**20日　避難訓練（防犯）** 今回も抜き打ちで行う。下校後の自由遊び中に行ったので、一瞬何が起こったか分からない子がほとんどで、動きが止まってしまった。「怪しい人がいるから静かに隠れて」と声かけをすると戸惑いながらもトイレや静養室に隠れることができた。 **30日　ハロウィン<詳細別途記載>**

ハロウィン

目的：季節の行事を友達と一緒に楽しむ。
（幼児）
内容：今年はコロナの影響で園外に行って地域交流ができないため、園内で活動をする。その中でも近隣の電気屋さんが来園してくれてお菓子を配ってくれた。

・園外への移動がなかったので、ゆったり楽しめた。
・学童から貰った手提げ袋（お菓子入れ）が良かった。
・タイヨー電気さんにも衣装を着てもらったらどうか

（学童）
内容：皆楽しみで浮足立っている様子。少人数に分かれて園庭や幼児クラスを仮装してまわり、お菓子をもらっていた。

・前日までに衣装を着る機会があったため、ハロウィンの雰囲気を楽しめた。
・園外に衣装を着て出ることを恥ずかしがる子もいるが、今年は園内だけだったので、みな仮装を楽しんでいた。

11 月	**10日　健康診断** **18日　避難訓練（火災）** 持ち出した子ども達の靴を入れるカゴが小さく、スムーズに入らないため入れるものを検討した方が良いと思った。消防署への連絡も訓練に取り入れていきたい。 	**16 日～　勤労感謝の日制作** 試作の段階から「私も作りたい」と集まって来る。製作を始めると次々と興味を示し、楽しんで取り組むことができた。

12 月	**4日　避難訓練・防災訓練** **＜詳細別途記載＞** **8日　健康診断** **17日　避難訓練（地震）** 机の下にもぐることは慣れてきた様子で、どの子もスムーズに潜ることができた。話をするとまだ理解できない子もいたが、真剣に聞く姿が見られた。 **25日　クリスマス会** **＜詳細別途記載＞**	**4日　避難訓練・防災訓練** **＜詳細別途記載＞** **25日　クリスマス会＜詳細別途記載＞**

避難訓練・防災訓練（引き取り訓練兼ねる）

目的

・普段とは異なる訓練を取り入れることで、災害に対する意識を高める。
・大地震が発生したと想定し、園児を安全かつ速やかに保護者に引き渡せるよう訓練を行う。
・らくらく連絡網（一斉メールアプリ）の使い方を知る。

内容

（幼児）

地震を想定し、保育室から園庭へ避難し親のお迎えを待つ。いつもとは違う何かを感じ取り、静かに待機できていた。少し肌寒いので毛布を使用した。

（学童）

「こんな時どうする？」の絵本を読みながらないろではどうするかを皆で話し合う。絵本を見ながらの質疑応答は皆真剣に考え、答えていた。地震発生後の避難は避難準備もスムーズで、落ち着いて園庭へ移動できた。その後、引き取り訓練を行い、迎えに来るまで静かに過ごせた。

<table>
<tr><td></td><td colspan="2">

クリスマス会

目的：クリスマス会を通して友達との関りを楽しむ。
　　行事の準備を通して期待を持つ

（幼児）

例年のように外部の方や学童との交流ができず会も縮小したが、ファイルシアターや紙芝居など皆集中して観ることができ、時間的にもちょうど良かった。

急遽サンタが登場としたが、子ども達は驚き、反応も良かった。

今年のプレゼントはループタオル。

飾り付けがあった方がよかった。

（学童）

子ども達が各自練習してきた出し物をする。頑張って披露し、見ている方もとても楽しんでいた。その後はサンタからのプレゼントのおもちゃ（ツイスター・ちんあなごっこ・UNO・ナインタイル）で盛り上がっていた。

景品付きの魚釣りゲームでは、自分の好きな物が先に取られて文句を言っている子もいた。

おやつはクリスマス特別おやつで、シャトレーゼのケーキ。

</td></tr>
<tr><td>１月</td><td>

4日　初詣<詳細別途記載>

12日　健康診断

18日　避難訓練（火事）

避難訓練にもだいぶ慣れてきた様子。集合も避難もとてもスムーズに行うことができた。

</td><td>

4日　初詣<詳細別途記載>

</td></tr>
</table>

初詣

幼児・学童合同で当麻山無量光寺へ初詣。
急な坂道もあり、幼児は歩けるか
心配だったが、学童が幼児の面倒を
よく見てくれて行きも帰りも
ぐずることなく楽しんで参拝できた。
どの子も園外へ出ると生き生きとして
いた。

2 月

2日　豆まき＜詳細別途記載＞
9日　健康診断
15日　避難訓練（地震）

机に椅子がある時は、慌てずに椅子をどかして頭が隠れるようにもぐることを説明すると、よく話を聞き行うことができた。

2 日　豆まき＜詳細別途記載＞

18 日　避難訓練（地震）

最近、大きな地震があり、それも交えて訓練の話をしたが、身近な事と感じられなかったのか真剣に取り組めない子もいて残念に思った。自分の身を守るために考えて行動できるようになって欲しい。

豆まき

ねらい
豆まきや恵方巻を楽しみながら、節分の意味を知る。
内容
（幼児）
何年かに一度の 2 月 2 日の節分。天候が悪いため 2 階で行う。鬼が怖くてみんな大泣きだったが、果敢に豆を投げる姿も見られた。数人はしばらくの間 2 階に行くのを嫌がるようになってしまった。

<table>
<tr><td></td><td colspan="2">（学童）
節分の話をしてから園庭に出て、恵方を向きながら恵方巻を食べる。５年生の福男、福女が豆（紙をまるめたもの）をまき、今年の福（当たり）２人が決まる。楽しい雰囲気でとても盛り上がった。

 </td></tr>
<tr><td>３月</td><td>9日　健康診断
17日　避難訓練（火災）
避難する間、子ども達は静かに行動することができた。裸足で歩いて母屋の方へ避難したが、嫌がる子や泣く子はいなかった。
 </td><td>24日　お別れ遠足
アリオに行き、一人 2,000 円のお小遣いで好きな物を買う。どう使うか、１円も残さずどう使い切るかと、悩みながら買い物をしていた。その後はランチと、コロナ禍の為お別れ遠足らしからぬ遠足だったが、3人共とても楽しんでいた。

 </td></tr>
</table>

18日　防犯訓練

散歩の帰り道、不審者に遭遇した想定で訓練をする。「先生（合言葉）がいるから静かにかくれるよ」と声をかけ、母屋へ逃げた。

26日　旅立ちの会

<詳細別途記載>

26日　旅立ちの会

<詳細別途記載>

31 日　園外保育　親水公園

旅立ちの会

ねらい：人に感謝する気持ちを伝え、新しい生活に期待を持って旅立つ

・コロナで大々的に会を開くことはできず、簡素化して行う。
　在園児と最後の会ができず残念ではあったが、卒園児の親子とは良い時間が過ごせたのではないか

内容

（幼児）

スライドショー、感謝状・アルバム贈呈、写真撮影

（学童）

スライドショー、感謝状・アルバム贈呈、在園児の言葉、親への手紙

写真撮影

	・コロナの感染防止のため、今年度も最少人数で行うこととなった。 在園児が参加できない分、装飾を手伝ったり、メッセージボードを作ったりし、みんなで作る式になったのではないか。装飾やメッセージは大変喜んでもらえた。 ・式に参加しない在園児のお迎えを早めにしたにもかかわらず、とても協力的だった。 ・保護者の参加確認や、式の流れ等、連絡・伝達の漏れが多かったり、準備がギリギリになってしまいバタバタした部分もあったが、 全体的にはよい旅立ちの会になったと思う。 メッセージボード 遊びに来てね～ 待ってるよ～

★SNS

「今日のなないろ」http://k2love2.blog53.fc2.com/
「フェイスブック」https://www.facebook.com/nanairo.kids.room/
「インスタグラム」https://www.instagram.com/nanairo_kids/
「今日の給食」　http://7716lunch.blog.fc2.com/

★その他

食育	５月の自粛中に野菜の苗（ミニトマト、ナス、ピーマン、パプリカ、大葉、オクラ）を購入し、自粛明けに子ども達と成長を観察した。

ミニトマト、ナスは順調に成長し、たくさん収穫ができ、給食で何度も食べることができた。
ピーマン、オクラは収穫を楽しむほどにはならず。。。
今年度は自分たちで収穫した野菜を調理して食する計画だったが、コロナの為子ども達での調理は中止とし、調理スタッフによる調理で食するだけにした。
コロナが収まり、種まき→収穫→調理→食べる
できるようになるのは　いつになるだろう・・・

	１０月中旬には小松菜の種を撒き、１１月末から１２月にかけ沢山収穫できた。

★スタッフの 2020 年度の振り返り　2021 年度の目標

＜2020 年度を終えて＞

・コロナによる自粛という初めての経験、昨年よりさらに臨機応変な対応が必要になった。スタッフ同士、できる限り話し合いながら対応を考えてきたが、自粛期間は出勤していないスタッフもいたので、情報を共有するのが難しかった。普段でもそうだが、「報・連・相」を徹底するためには LINE などをもっと活用していかなければならないと感じた。

・今年度はコロナで始まり、保育でも今まで当然のようにやってきた子どもたちへの関りが少し変化したが、それほどの戸惑いはなかった。換気や手洗いなど衛生面に対し今まで以上に気を配ることができる環境になり良かった。保育活動で気を使う（密にならないように）こともあるが、その分、他のスタッフとも多様な話をすることができる機会になり良かったと思う。

・本来ならば学童・保育の交流があり、ある程度子どもたちの様子が分かるが、今年度は交流ができず学童スタッフは幼児の、幼児スタッフは学童の子どもたちの把握ができなかったように感じる。

＜次年度の目標＞

・経験豊富なスタッフの良さを活かして、保護者や子どもたちにとって、ただ「親を待つ場所」ではなく「落ち着きや安心を感じられる場所」になれるような保育、対応をしていきたい。

・玄関までで受け入れ、渡しになり、今までより下駄箱の上の壁面に目が行く保護者も多かったので、玄関内の壁面製作やなないろ通信などをこまめに更新して、少しでも子供たちの様子を伝えていきたい。

・少し自粛生活に慣れてきてしまったところもあるので、気を引き締めつつ、子どもたちと日々楽しむ工夫を見つけていきたい。